

ZEISS、次世代のシネプライムレンズ「Compact Prime CP.3」発表

フォーカス位置ごとのレンズ補正データが記録できる

「ZEISS eXtended Data」内蔵シリーズも登場

コンパクトプライムレンズの特徴を受け継いだ次世代型シネレンズ

カールツァイスは4月24日、米国ラスベガスでのNAB Show 2017にて新しいシネレンズシリーズ“Compact Prime CP.3”および“Compact Prime CP.3 XD”を発表致しました。



【Compact Prime CP.3 (以下 CP.3)】

ツァイスの交換マウント式シネプライムレンズの第二世代となる「CP.3」。

従来のCP.2の特長であった、カメラシステムに応じてユーザーが簡単にマウント交換・シム調整ができる「IMS交換マウントシステム」と、35 mm フルフレームセンサーにケラレなく対応する大きなイメージサークルはそのままに、ユーザーの使いやすさを更に追求した新しいシネレンズシリーズです。

スムーズで軽いフォーカストルク

鏡筒設計を徹底的に見直し、ツァイスの最上位シネレンズシリーズ「Master Prime」と同様の環状ボールベアリングを内蔵。小指一本でも回すことのできるトルクの軽さと、指を離れたところでピタリと止まる精密なフォーカシングを実現しました。

新しいコーティングによる光学性能の向上

従来は難しかった曲率の高い超広角レンズ前玉にも極めて均一なコーティングを施し、画面全域にわたり対フレア特性を大幅に改良。また、鏡筒の中群に配置されるレンズにもコーティング層を増やし、レンズファミリー全体でヌケの良さとコントラストを向上しました。

小型軽量化、前枠径の統一

鏡筒前枠は CP.2 よりひとまわりコンパクトな 95mm に統一、レンズ重量も軽くなって小型カメラとのマッチングも向上し、ジンバル撮影などでカメラとのバランスが取りやすくなりました。

【Compact Prime CP.3 XD (以下 CP.3 XD)】

CP.3 の操作性に加え、これまで Master Prime など一部のシリーズでのみ可能だった、レンズメタデータが記録できるのが「CP.3 XD」シリーズです。

レンズ本体に Cooke /i と互換性のある「ZEISS eXtended Data (ツァイス・エクステンデッド・データ)」のエンコーダーと接点を搭載し、撮影時のレンズデータを記録します。ポストプロダクション作業の大幅な効率化が図れるだけでなく、撮影現場で補正効果を確認することも可能です。

記録可能データ

レンズ名、レンズ製造番号、開放絞り値、実絞り設定値、焦点距離、実撮影距離、フォーカス位置ごとの被写界深度、フォーカス位置ごとの湾曲収差補正データ、周辺減光補正データ

これらのデータは Ambient 製 Master Lockit Plus によってタイムコードに同期して収録全フレームに書き込めるほか、Pomfort LiveGrade および Silver Stack ソフトウェア上でリアルタイムにレンズ補正を加えた映像を確認・収録出来ます(対応ソフトウェアは順次拡充予定)。



ARRI Alexa Mini と組み合わせた CP.3 XD レンズと
Ambient Master Lockit Plus

CP.3 XD シリーズでは、撮影直後に現場でソフトウェア上でデータを参照し、補正を ON/OFF してその効果を確認できます



【CP.3 / CP.3 XD シリーズ構成】

焦点距離（10 機種）

15mm/T2.9 18mm/T2.9 21mm/T2.9 25mm/T2.1 28mm/T2.1 35mm/T2.1
50mm/T2.1 85mm/T2.1 100mm/T2.1 CF 135mm/T2.1

対応マウント

CP.3 (5 種類) : PL EF E MFT F

CP.3 XD (1 種類) : データ接点付き PL

価格・発売時期（日本国内価格はメーカーまで確認が取れ次第ご案内いたします）

CP.3 シリーズ: EUR3,500 - 4,900 (税別)

CP.3 XD シリーズ: EUR5,000 - 6,400 (税別)

日本国内発売時期: 2017 年 6 月出荷開始予定



(写真左) CP.3 XD (同右) CP.3

ZEISS 社について

ZEISS は光学および光電子産業をリードする国際的テクノロジー企業です。ZEISS グループは半導体製造装置、測定技術、顕微鏡、医療技術、眼鏡レンズ、カメラおよび映写機用レンズ、双眼鏡、プラネタリウム技術などの開発・販売を専門とし、最先端技術ソリューションにより、光学の世界の可能性を広げ、技術的進歩に貢献しています。

グループの原点は、1846 年に会社創設者カール・ツァイスがチューリンゲン州イエーナにて立ち上げた精密機械および光学部品の工場です。現在ではバーデン＝ヴュルテンベルク州のオーバーコッヘンを拠点に事業を展開しています。

<ナックイメージテクノロジー制作営業部について>

映像制作に関わるプロフェッショナルなユーザが求めるカメラやライトなどの高品質な映像制作機器を幅広くお取り扱いしています。放送・映画・コマーシャル・音楽ライブ・プロモーションビデオ向けに世界中で支持される映像制作用の一流製品を取り揃えてユーザのニーズにお応えします。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ナックイメージテクノロジー 制作営業部
TEL : 03-3796-7901 E-mail : seisaku@camnac.co.jp
Website : <https://www.nacinc.jp>